

★★ **BMC系人工大理石 洗面ボウル** ★★

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
この取扱説明書はいつでも御覧になれる場所に、大切に保管してください。

1 安全上のご注意 (必ずお守りください)

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつく恐れがあります。必ずお守りください。

警告

禁止 ボウルの上に乗ったり、踏み台として使用したりしないでください。
滑って落ちたり、ケガをする恐れがあります。
また、ボウルが変形したり、割れたりする原因になります。



禁止 お客様自身で絶対に分解・修理・改造は行わないでください。
ケガや事故が生じる恐れがあります。
修理はお求めの販売店へご連絡ください。



注意

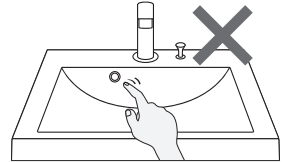
注意 小さなお子さま、介助の必要な方、高齢の方がお使いになる際は、介助の方が付き添ってください。
思わぬケガをする恐れがあります。

注意 部品が破損、脱落したり、ゆるんだりしている場合は、速やかに修理を依頼してください。
小さな部品の場合も同様に修理を依頼してください。そのまま放置すると思わぬ事故（ケガや誤飲）が起こる可能性があります。

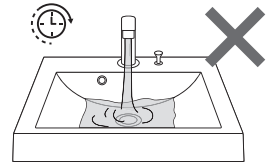
注意 組み込まれる機器、水栓等については、それぞれの取扱説明書および製品本体に表示されている事項を守り、正しく設置してください。
使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。



注意 オーバーフロー、排水口に直接指を入れないでください。
端面や内部の突起でケガをする恐れがあります。

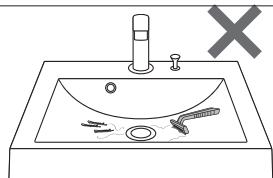


注意 水栓から湯水を出しっぱなしにしないでください。
湯水が床にあふれると、大きな損害になる原因になります。

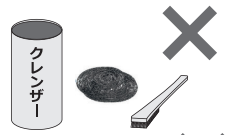


2 使用上のご注意 (必ずお守りください)

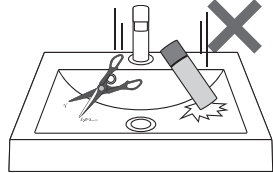
禁止 ボウルにぬれたヘアピンやかみそり刃の金属製品を絶対に放置しない。
サビが付着し、取れなくなる場合があります。



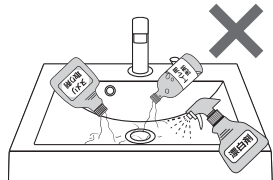
禁止 研磨材入りの洗剤（クレンザー等）・研磨粒子入りの洗浄具（不織布等）やタワシは使用しない。
表面に細かい傷が付き、カウンター・洗面の変質につながります。



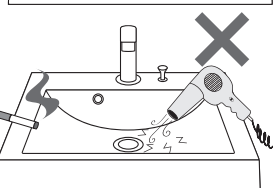
禁止 強い衝撃を与えない。
ボウルに鋭利な物・重い物を落とすと、傷つき・変形・割れにより、ケガをする恐れがあります。



禁止 固形または粉末の塩素系洗浄剤、漂白剤、ヌメリ取り剤は、使ったり近づけたりしない。
水や湿気に反応し、発生するガスがステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。
※保管の場所や方法に十分注意してください。



禁止 火がついた物（タバコ、マッチ等）を置いたり、近づいたりしない。
ボウルが傷み、焼け焦げる恐れがあります。

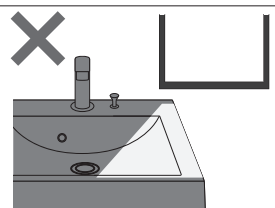


禁止 ドライヤー等の熱をカウンターの表面に直接当てない。
変形、変色の原因になります。

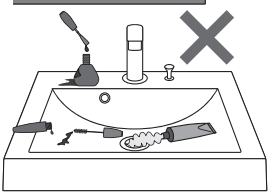
禁止 有機溶剤・強酸・強アルカリ性洗剤・トイレ用洗剤は使用しない。
排水栓が侵され、水漏れや変色・破損・表面劣化の原因になります。

禁止 熱湯を洗面ボウルに流さない。
排水器具の変形・破損の恐れがあり、水漏れにつながります。

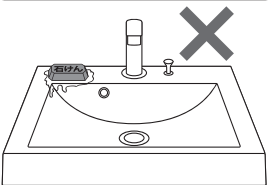
注意 直射日光を直接当てない。
直射日光が常時当たる場所は、必ずカーテン等でさえぎってください。
また、スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。変色、変形の恐れがあります。



注意 化粧品、除光液、マニキュア、クレンジングフォーム、うがい薬、口内洗浄液、歯磨き粉、ヘアダイ・ヘアカラー等が付いたら、すぐにスポンジか柔らかい布に中性洗剤を含ませて拭き取る。
変色や変形の原因になります。



実行 ボウルに直接石けんを置かない。必ず受け皿を使用する。
直接石けんを置いたまま長時間放置すると、ボウルが変色する可能性があります。



実行 清掃時に排水管のキャップを外す時は、バケツで受ける。
水漏れの恐れがあります。



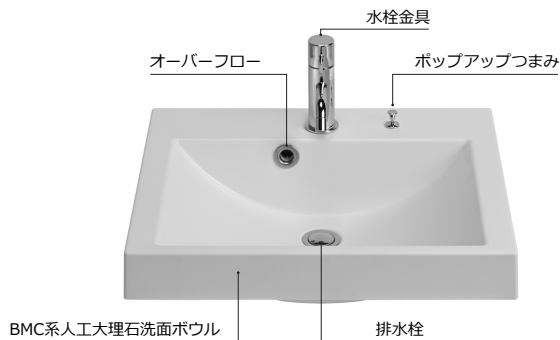
実行 塩素系洗剤を洗面ボウルで使用した場合、また、排水口に流したら、その後、大量の水を流して洗面ボウルや配管の洗剤を除去してください。
洗面ボウルや排水管を痛め、水漏れの原因になります。

実行 鉛筆、クシ、歯ブラシ等を誤って排水口に落とした場合は、水を流す前に必ず拾い出す。
排水管が詰まり、排水があふれる恐れがあります。

実行 ご使用中はその場を離れない。
ボウルからあふれた湯水がフロア等に漏水し、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。

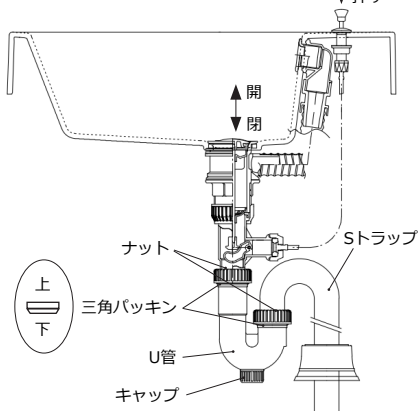
3 各部の名称

※図は製品の例示であり、実際の製品と異なる場合があります。
 ※水栓金具のご使用は、水栓の取扱説明書に従ってください。

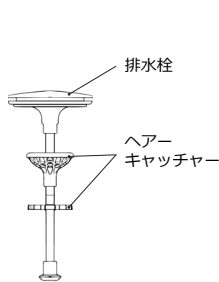


※ポップアップつまみを押し下したり、引いたりすることにより、排水栓が閉じたり、開いたりします。

【排水セット】



【弁セット】



■お手入れ方法

風合いを維持するためにも、こまめなお手入れが美しさを保つ秘訣です。

お手入れの2ステップ

①水拭き



②乾拭き



| 期間 | お手入れ内容 |
|----|--|
| 通常 | <p>【通常のお手入れ】 1.水を含んだ布で拭き取ってください。 2.最後に乾いた布で乾拭きをしてください。</p> <p>注意： ・汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなります。 ・こまめにお手入れしてください。</p> <p>【落ちにくい汚れ】 下記手順で行ってください。除去できない場合、段階的に次のステップでお手入れしてください。 1.中性洗剤（台所用）をつけて柔らかい布またはスポンジで汚れを拭き取ります。 2.ナイロンたわしで軽く擦ります。（強くするとテカリが発生） 3.やむを得ずクリームクレンザー等の研磨剤入りの洗剤を使う場合は軽く全体的に擦ります。（部分的に強くするとテカリが発生） 注意：いずれも最後に水洗いを行い、洗剤を完全に除去し、乾いた布で拭き取ってください。</p> <p>【細かい傷がついた場合】 1.やむを得ずクリームクレンザー等の研磨剤入りの洗剤を使う場合は軽く全体的に擦ります。（部分的に強くするとテカリが発生） 2.最後に水洗いを行い、洗剤を完全に除去し、乾いた布で拭き取ってください。</p> <p>【深い傷がついた場合】 深い傷や欠けが発生した場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。傷・欠けの状況によっては、修理ができない場合もあります。</p> |

4 お手入れ

■用具

- ◎ ご使用できます。
- ▲ やむを得ない時のみご使用できます。
- ✕ ご使用できません。擦ると表面に傷がついてしまう恐れがあります。

| 柔らかい布 (メカネ拭きに 利用する ような布) | ウレタン スポンジ (スポンジ部) | ネット スポンジ | ナイロン タワシ 研磨粒子無し | ナイロン タワシ 研磨粒子有り | メラミン スポンジ | 金属 タワシ |
|-----------------------------------|-------------------------|-------------|-----------------------|-----------------------|--------------|-----------|
| | | | | | | |
| ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ▲ | ✕ | ✕ |

※右にいくほど、硬い

■洗剤

- ◎ ご使用できます。
- ▲ やむを得ない時のみご使用できます。
- ✕ ご使用できません。研磨剤入りの洗剤が付着し、乾燥してしまうと、白い跡が表面に付着し、落ちない恐れがあります。すぐ水拭きしてください。

| 食器用洗剤 | 台所回り用洗剤 | 食卓用洗剤 家具用洗剤 | クリーム クレンザー | 粉末 クレンザー |
|---|--|------------------------------------|---------------------------|---|
| 弱酸性～ 弱アルカリ性 | 弱アルカリ性 | 中性～ 弱アルカリ性 | 弱アルカリ性 | 弱アルカリ性 |
| 汚れ落とし | 油汚れ・ 水アカヌメリ・ 除菌・消臭 | 汚れ落とし・ 除菌 | こびりついた 汚れ・油汚れ・ 水アカ | しつこい汚れ・ 油汚れ |
| 十分な流水で流せる 部位で使用できます。 手アカ予防は弱酸性が 有効です。必ず水拭き が必要です。 | 流水で洗い落と せない部位でも 使用できます。 水拭きが必要 です。 | あらゆる場所 の日常のお掃除 でご使用でき ます。 | 細かい粒子が 汚れをかき落 とします。 | 液体クレンザー よりも粒子が粗 く強い研磨力で 落とします。 |
| ◎ | ◎ | ◎ | ▲ | ✕ |

| 期間 | お手入れ内容 |
|-----|--|
| 通常 | <p>【油性の汚れの場合】 油性マジック、マニキュア、たばこのヤニ等の油性の汚れはベンジン又はマニキュアリムーバーをティッシュ又はガーゼに含ませ拭き取ってください。</p> <p>注意：いずれも最後に水洗いを行い、洗剤を完全に除去し、乾いた布で拭き取ってください。</p> |
| 週一回 | <p>【ヘアーキャッチャー清掃】 1.排水栓を取り出し、ヘアーキャッチャーを歯ブラシ等で清掃してください。 2.清掃後、ヘアーキャッチャーの向きに注意して差し込んでください。</p> |
| 月一回 | <p>【水漏れ点検】 1.Sトラップの中に何か詰まっている場合。 ■Sトラップのキャップを外し、詰まった物を取り除いてください。 また、トラップ内には水が溜まっていますので、キャップを外す際はバケツ等で受けてください。 ■SトラップのU管を外して、詰まった物を取り除いてください。トラップ内には水が溜まっていますので、U管を外す際はバケツ等で受けてください。 2.排水口のヘアーキャッチャー部分にゴミや髪の毛が溜まっている場合。 ヘアーキャッチャー部を外し、溜まったゴミや髪の毛を取り除いてください。</p> <p>注意：いずれも最後に水洗いを行い、洗剤を完全に除去し、乾いた布で拭き取ってください。</p> |

吉本産業株式会社

受付時間：9:00～17:30（土日、祝日、夏季休業、年末年始を除く）

本社・R&D・LABO
 〒578-0903
 大阪府東大阪市今米1丁目13-8
 TEL：072 967 2001
 FAX：072 967 2003

東京営業所・LABO
 〒105-0011
 東京都港区芝公園1丁目2-9(け化)18F
 TEL：03 3434 1700
 FAX：03 3434 1710

